

平成 19 年度 第 1 回 芦屋市立青少年愛護センター運営連絡会 会議要旨)

日 時	平成19年6月7日(木) 10:00~11:30
場 所	芦屋市立青少年センター 第1研修室
出席者	委員長 新井野 久男 委員 極楽寺 英子 渡邊 敏信 車谷 博巳 ・ 牧野 君代 杉岡 菊子 事務局 教育長 松本部長 山口 俊春 江藤 博之
会議の公表	公 開 非公開 部分公開 < 非公開・部分公開とした場合の理由 >
傍聴者数	0 人

- ・ 青少年愛護センター運営連絡会委員委嘱式
- ・ 開会挨拶
- ・ 委員自己紹介
- ・ 運営連絡会委員長選出
- ・ 運営連絡委員長あいさつ

1 議題

平成19年度 第1回芦屋市立運営連絡会について

2 審議内容

平成18年度 青少年愛護センター事業報告

3 平成19年度 青少年愛護センター事業計画

〔主な質疑内容〕

子育て応援団、ネグレクトが多い。(親の問題)民生委員の存在知らない人がいる。学校訪問もしたがパイプ役としては小学校から続いている。小さい時から知ってないと難しい。幼稚園の親が心配である。市立の幼稚園とも連携ができるといい。一番としては大事な子育ての相談が出来るのは班集会、ネグレクトの例はある。(教育長)虐待やいろんなケースに対応、身の危険は自分で守る(中学生)2件あった、車に連れ込まれそうになった。後は抱きつかれた、部活は92%が入部下校6時から8時で見守りを対処してほしいが、安全面では手薄である。市内の生徒指導の連携は出来ているのか、福祉の流れは解り難い。福祉が先に知ってから学校教育現場に連絡が入る。芦屋の腕章は地味だが141人の目でしっかり見守る。愛護委員の巡回時のジャンパーを揃えることを来年度の予算計上に前向きに検討する。

〔結論〕

全会一致で了承した。

以 上